

保育 おおさか

平成21年7月1日 第407号

大阪府社会福祉協議会・保育部会
(大阪府保育協議会)

☎ 06-6762-9001 Fax 06-6768-2426

子育てと仕事が両立できる安心社会へ 拠点としての保育園の責任重大

平成21年度保育部会総会で記念講演



保育部会総会が5月27日(水)、大阪社会福祉指導センター5階ホールで開催され、厚生労働省雇用均等・児童家庭局保育課課長、今里謙氏が記念講演されました。

今里氏は大阪、神戸などの地域で新型インフルエンザが発生し、保育園が一定期間休園になった事態について保育園側の労をねぎらわれたあと、少子化の進行と人口減少社会の到来について説明。新しい少子化対策の中で、妊娠・出産から高校・大学生になるまで子どもの成長に応じた総合的な子育て支援策や働き方の改革、社会の意識改革のための国民的運動推進の必要性を報告され、保育園が重要な拠点になるこ

とや保護者支援・地域支援についても保育園が担う役割が大きいこと、「保育所保育指針」の改定に見られる認可保育園の質の向上が不可欠であることなどを指摘、保育園が抱えている責任の重さを痛感させられました。また、認可保育園に入りたくても入れない子どもにはどのように対応する

ればよいのか、地方自治体で資金が無い場合、どうすれば平等な保育を提議できるのかなど今後の課題についても触れ、保育制度の姿―新しい保育の仕組み―の中で、保育の必要性の判断や基準の見直し、さらに保育の提供や参入の仕組みの検討など多岐にわたる次世代育成支援のための新たな

制度体系の設計について示されました。安心して子育てと仕事ができることで、安定した家庭を築き、子どもを産み育てたいと思える社会を作ること意識しながら、われわれ保育園にできる支援(働き)をより充実していくことが求められています。(玉川橋保育園 M・T)

同じ現場で働いているからこそ信頼できる職場の先生方、応援してくださる保護者の方、いつも私の体を気遣ってくれる友人、何より一番近くで見守ってくれている家族みんなに今一度感謝したいと思っています。私事ですが、ただ今妊娠8か月。これからは一人の母親として、保育士としての新たな気持ちでこの仕事と向き合い、頑張っていきたいと思っています。(交野保育所 K・N)



先日の夕方、頭痛で会社(園)を休み自宅療養しているとインターホンが鳴り、

モニターからまぶしいばかりの黄色い帽子が飛び込んできた。「はい」と応答するも返事がなく何やら様子がおかしい。「あつ!」と思い当たる節があり、玄関から飛び出すと、やはりそこにいるのはお向かいの子、四月に小学生になったばかりの「マー君」

「マー君! どうしたの?」。涙いっぱい泣きじゃくる男の子に声をかけた時、お向かいのガレージに車がないのが目に留まり、すべての事情が把握できました。「お母さん、すぐ戻ってきてくれるよ」と慰めるも束の間、お母さんが急いで帰ってこられました。

マー君は、はじめ両隣を訪ねたものの留守だったらしい。三度目に押したのが我が家のインターホン。その話を聞いてどういうわけか嬉しく、ほのぼのとした瞬間でした。「向う三軒両隣」、地域による見守りここにあり。

(N・M)

子どもたちの笑顔・ 多くの人の支えに感謝 5年勤続表彰を受けて

持ちを伝えられない時がありました。また、世間から取り残されているような孤独感を感じたり、帰宅後も仕事のことばかり考えたりで、何度この職業から離れようと思っ

たこともあり。でも今こうして続けられているのは、いつでも無邪気な笑顔を見せてくれる子どもたちの存在です。そして、たくさんさんの支えがあるからです。

た今妊娠8か月。これからは一人の母親として、保育士としての新たな気持ちでこの仕事と向き合い、頑張っていきたいと思っています。

(交野保育所 K・N)

モデル事業の取り組み本格化

— 保育園における地域貢献事業

先の保育園会総会で初めて地域貢献支援員（スマイルサポーター）が認定されましたが、地域貢献事業の府内全面展開に向け、モデル事業実施地域としてこれまでに泉佐野市、堺市南区、茨木市が受託。活動はこれから本格化しますが、以下に、現況を報告します。

A 地区

- ・遊び、お話し、読み聞かせの実施が可能。
- ・子育てサロンへの関わりは子育てサロン見学後。
- ・月1回ぐらいの関わりは可能。

B 地区

- ・第1水曜日の地区福祉委員会開催時への関わり。
- ・月により第2・3・4の水曜日に関わりをもつ。

泉佐野市 校区別の地区福祉委員会と連携図る

泉佐野市は主に各小学校区の地区福祉委員会との連携を図られています。このほど行われた4地域の地域貢献事業と子育て実施地区の打合せで次のような取り組みが具体化しました。

各地域とも園庭開放時の見学、栄養士や看護師、育児相談員などを地域に派遣することも可能とい

- ・ふれあいサロンにも要員を派遣。
- ・頻度や分担は2園で調整。

さらに子育て世代の交流会の開催に推進委員として参加するほか、今後の関わりについての検討会の実施、総会への出席や子育てサロンへの関わりも検討されています。（事務局）

堺市南区

地域の組織・施設との横のつながりが課題

泉佐野市に続きモデル事業の展開が始まりましたが、実際にいろいろ想定していくと問題点も浮かび上がってきます。

まず、養成研修では大阪府全域が想定されていたため、自分たちの地域に適合した制度や施設を理解することが必要になりました。このため現場

ずつですが軌道に乗っていくものと思われま

茨木市

市内3ブロックに分け責任者を配置

本紙4月号でも紹介しましたとおり、泉佐野市、堺市南区に続き、茨木市でもモデル事業を実施されています。

茨木市ではまず、市内を「北・中・南」の3ブロックに分けて、活動していくことを決定しました。また、各ブロックに責任者を2名ずつ配置し、進めておられます。

もともと、茨木市ではさまざまな施設や団体をつなぐ組織が作られていました。虐待防止を目的に取り組みを進めている「子どもわいわいネットワーク茨木」や市内の社会福祉法人及び施設で構成する「茨木市社会福祉法人連絡会」など。

これまでのつながりをより密接に、より強化するため、他種別施設や民生委員児童委員協議会、青少年健全育成協議会な

どに対して「保育園における地域貢献事業」についての説明と協力をお願いをしています。また、各ブロックでも個々に近隣の施設などへの声かけも実施。市内全域でのつながりづくりだけではなく、より細かな地域でのつながりづくりにも力を入れています。

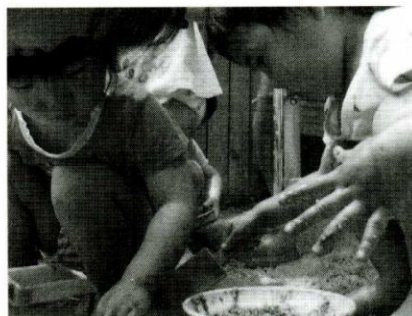
保育園だけでは、相談の内容も保育、子育ての関係でとどまることが多いですが、さまざまな施設、団体との連携の中で保育、子育て以外の相談を受けることができる体制ができ、事業の広がりが期待されます。

既存の他施設・他団体とのつながりを活かした、茨木市らしいモデル事業が展開されています。茨木市では現在、連携していく可能性のある施設・団体へ地域貢献事業の周知を行った段階で、今後は各方面から「どのような反応があるか」「どのような相談があるか」を確認しながら、モデル事業を進められる予定です。

（事務局）

吹田市 佐井寺たんぽぽ保育園

期待担う地域支援クラスやOBサークルも
“どろだんご”作りに夢中の4、5歳児



どろだんご作り

育園に託された保護者の夢を実現するために、地域の多くの方たちの意見を聞かれたそうです。

“できることは工夫してやろう！”というスタンスで取り組まれているうちに、地域支援クラスは4クラス、OBサークルは2クラスに増えたそうです。

吹田市にある佐井寺たんぽぽ保育園は共同保育所として運営されてきた22年の歴史を土台に、認可保育園になってから6年目の保育園です。

共同保育所時代は、認可保育園へ入りたいくても入れない子どもたちを預かり、保護者と協力・共同の運営に尽力されてきました。

吹田市の中ではまだまだ自然が残る古い住宅街にあり、地域の温かい見守りを受けながら、のびのびとした保育をされています。また、保育の充実や地域支援など認可保

育園に託された保護者の夢を実現するために、地域の多くの方たちの意見を聞かれたそうです。

今では、園庭開放や体験保育の受け入れの他にも地域の公園での遊びの広場の開催や、年2回開催されるたんぽぽ祭り、園児の祖父母や地域のお年寄りの方との世代間交流、夏祭りなど、OBも含め子育て中の仲間や地域の方が集う場となっているところがいました。

開園当時は30名定員で0、2歳までの保育でしたが、昨年、5歳児までの60名定員に増やされました。「人と人が数珠のようにつながり、途切

れることがない様子を見られるのはとても嬉しくありがたいことです。」と話されていました。

現在、4・5歳児たちは、どろだんご作りに夢中でピカピカのどろだんごがたくさんできていました。1・2歳児もどろんこ遊びが大好き。口も手も目いっぱい動かして遊ぶ姿が印象的で子どもたちの笑顔が素敵でした。

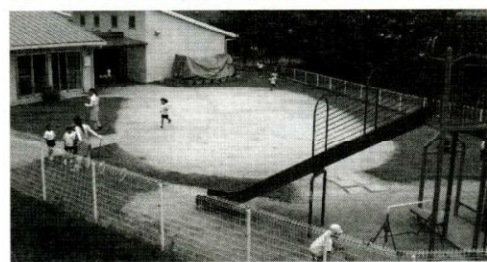
(編集委員 M・K)



保育園を

たずねて

384



園庭を駆け回る子ども様子

「リゾート地みたい！」と声をあげるくらい大自然が身近に感じられる環境でした。山の斜面が整地され、山側の木々と谷側の空や木々、点在する家々や農地を遠くに見渡せます。近隣に高層ビルがない

先月に続き四條畷市の保育園を紹介します。

今回は北生駒山地、清滝峠を境にした東側で、山の腹を切り開いた新興住宅地にある田原台ひまわり保育園

地にある田原台ひまわり保育園を訪ねた。開設は平成16年4月で定員は120人です。

園の設立は、住宅のシックハウス症候群が問題になった頃に検討されたため、園舎建設は木造建築(平屋)が採用されました。おかげで自然との調和がなされ、園児たちの心の安定を保つ理想的な環境になっています。

園庭は現在、芝生を養生中ですが、全面ではなく、運動や土いじりができるスペースが残されています。子どもにとって土や砂との関わりがいか

に大切かを配慮した作りになっています。囲いや柵などもすべて木製(朽木の利用)です。芝生や柵は理事長先生の手作りで、これからも手を加えられるそうです。

設立当時に入所した0歳児が卒園する頃には、もっと自然に溶け込んだ園になっているに違いないと思います。

(編集委員 J・F)

四條畷市 田原台ひまわり保育園

生活の基本を判り易く教える保育方針
立地を生かした自然に溶け込む環境

堺市 みんなの保育園

子から家庭へ食事づくりの楽しさ発信
毎年開く子育て講座に保護者の体験談も



みんなの保育園の園舎

下処理をします。道具の使い方や野菜の名前など自然に覚え、下のクラスにも教えて各クラスが下処理を楽しみにするほどになっています。

「みんなの保育園」はJR鳳駅または津久野駅から徒歩20分、企業と商業施設と住宅が混在している地域です。

開園8年目。鳳の地で、1973年当時、産休明け保育がほとんどされていなかった時代に子どもを育てながら仕事を続けていきたいという保護者の願いから、0歳児―2歳児までの保育を担われてきました。その頃から離乳食、給食やおやつは手作り。食を保育の一環として位置づけられています。年長児は毎日、食材の

下処理をします。道具の使い方や野菜の名前など自然に覚え、下のクラスにも教えて各クラスが下処理を楽しみにするほどになっています。

子どもたちは家に帰ると、園で教わったドレッシングやみそ汁を作り、食事の準備を手伝うなど子どもと保護者が一緒に食事をつくる家庭も増えているそうです。子どもから保護者へ、食事づくりの楽しさが発信されているわけです。

「子どもも保護者も職員もそれぞれの立場を大切にしながら共に学び合う」が理念の一つ。保護者は自分の子だけでなく、他の子みんなの成長を喜びあえる関係を作られているのが特徴です。

園では毎年子育て講座を行い、今年は保護者の方から「自分(父親)と共に成長する子育て」と題して話をされました。入

園後、子育ての考え方が



泉佐野市 下瓦屋保育園

茶道など「静と動」組み合わせた日常保育
世代間、地域との情報交換にも積極的

保育園としてスタートしました。

周辺にはマンションや新しい家も多く建ち並び始めましたが、まだ畑や、田んぼがあり、先日、子どもたちは田植えを体験しました。園庭の菜園では水やりを精を出す子どもたち。きゅうりやトマト、茄子が熟れると給食室に「これ使ってね」と持ってくるそうです。

子どもたちの活動の柱は「静」と「動」の組み合わせ。身体をしつかり使う、体験したことを絵に表す、話をしつかり聴くといったメリハリの

ある保育に取り組んでおられます。特に4、5歳児の「茶道」は子どもたちの楽しみ。5歳児は「お泊り保育するんや!」とお風呂に入った



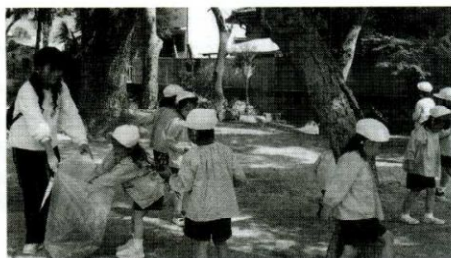
下瓦屋保育園の園児たち

地域の人々に支えられ、子どもたちの成長を楽しみに、理事長の持論「一人ひとりが輝く保育を!」を目指し、職員一同元気に頑張っておられるようです。

(編集委員 N・N)

保育園を たずねて 385

八尾市にある当園では元氣いっぱい5歳児・年長クラス36名の子どもたちが積極的な地域活動を行っています。その一つが清掃活動です。



近くの三十八神社

定期的に清掃活動に出かけます。元氣良く「行ってきます」と手をふり、他の年少クラスの園児や先生に挨拶をして、いざ出発です。

「ごみ袋やほうき、ちりと持ち、先生やみんなと手をつなぎ歩いて神社に向かいます。神社は保育園のすぐ近くですが、道々出会う地域の人たちとのコミュニケーションの機会にもなっています。

神社に到着すると、地域の人たちや神社の人の顔、目をしっかり見ながら「おはようございます」とあいさつ。すると「よろしくね」と言葉がけがあり、「はい」と返事を返す子どもたち。その目に



さくら保育園 — 八尾市

シリーズ 地域交流・地域連携

年長児が神社で清掃活動
地域と触れ合い、様々な発見の場



清掃活動の様子

はヤル気がうかがわれます。

宮司さん、先生、地域の人たちの話を聞いてから一緒に落ち葉拾い、ごみ拾い、草抜きを開始。「この葉っぱ、変わった形してる」「草が根っこから上手に抜けたよ」「この石、なんだか不思議な形」と、清掃時間中も子どもたちにとっては多くの発見の時間となります。時には蝶が飛んできたり、アリの行進やダンゴ虫を見つけては満面の笑顔で大喜び。

清掃が終わり、地域の人たちに「とってもきれいになったね」「ありがとう」と声をかけられると、「頑張ってお掃除したからきれいになって、とっても気持ちいいね」とか



協力し合って取組み中

「みんなで拾ったから楽しかったよ」と子どもたちは嬉しそうです。

この経験は保育園での日々、友だちと過ごす時間の中で、清掃を通して

の活動に成果が出ているように見受けられます。

具体的には、子どもたち自身が積極的にゴミを拾ったり、片付けをしたり、友だちが怪我をしないように園庭の石拾いをしたり。

身の周りをきれいにすることが習慣となり、清掃の大切さや他の人を思いやる気持ちが自然と子どもたちに身につけてきているように思われます。

日頃、身の周りで世話になっている方々やモノに対して、感謝の気持ちを「ありがとう」の言葉に表

すこと、行動で示すことを、子どもたちは地域での清掃活動を通して強く感じ取っているのです。

こうした地域での交流活動をおして多くの方々と身近にふれ合い、感謝の気持ちを学んでほしい。様々な発見や喜びを体験し情緒豊かな心を育ててほしい。これからも園長先生はじめ職員一同と、子どもたちが引き続き地域交流、地域活動に取り組める環境づくりを進めていきたいと思ひます。

(さくら保育園 H・M)

お知らせ

プロ野球公式戦にご招待 オリックス・バッファローズ観戦募集



プロ野球チーム「オリックス・バッファローズ」からこのたび、プロ野球公式戦への招待をいただきました。

野球を通じて子どもたちに「夢」と「感動」を届けるとともに、「できるだけ多くの子どもたちが観戦し、少しでも身近に感じていただきたい」と企画。

☆試合日：平成21年8月

29日(土)・30日(日)
☆試合開始：29日 14時
／30日 13時
☆実施球場：京セラドーム
☆招待席：内野自由席
☆注意点：①当日は事故

※詳細・申込方法等については、別途FAXしております招待案内をご覧ください。

『訂正とお詫び』

平成21年度、22年度役員名簿について、幹事三角智昭氏(たんぼぼ安威保育園)の掲載もれがございましたので、訂正させていただきます。掲載漏れがございましたこと、お詫び申し上げます。

ブロックだより

北摂

超少子化時代に備えよ

— ブロック総会で記念講演

平成21年度北摂ブロック総会が6月15日に開かれ、(株)遊育代表、吉田正幸氏が記念講演されました。

吉田氏は10年後、20年

後に到来する超少子化時代に備え、社会作りを整

備する必要性に触れ、保育制度改革の具体的な課題を指摘されました。

その中で「保育に欠け



記念講演の様子

る」要件の見直しについて、家庭の貧富の差や家族構成などに関係なく、すべての子どもが保育を受けることができるよう

に、市町村で要保育の承認を受ける場合、日本全国同じ基準を作り地域差がないようにすること、「すべての子どもの最善の利益」という観点に基づき保育改革を進めなくてはならないと強く述べられました。

重点戦略検討会議の示す方向性として、「就労と子育ての二者択一構造を改革し、両立できる社会環境、ワークライフバランスの実現と包括的な

北大阪

情報先取りし現場から意見発信を

— ブロック総会で激飛ぶ

平成21年度北大阪ブロック総会が6月3日(水)、大阪・谷町の大阪社会福祉会館にて開催されました。80名強が参加された中、役員改選、平成22年度に迎える創設30周年の記念事業のための基金積み立て、準備推進を含めた全ての議案を満場一致で承認されました。

再任された亀井信昭会長は「急激な保育制度改革に対し、ブロックとして情報を先取りし、的確に皆様に流して今まで以上に力を合わせ行動していきたい」と力強く挨拶されました。

そのあとの研修会では、菊池繁信全国保育協議会副会長が「最近の保育制度の動向について」と題して記念講演。近年、保育分野における規制緩和や少子化対策など保育制度の動向が注目される中で、菊池先生は「社会福

次世代育成支援の枠組みとを報告されました。
(編集委員 M・K)

梅雨のさなか、近年、その年により空梅雨とか、ホンマモンの雨の連続や。地球温暖化が叫ばれているが、京都議定書が黄門様の印籠の様には世界の国々には効き目がなさそう。まだまだ発展途上国である！核も保有？の国が、ホンマかいな？おっと小欄は国際政治の欄ではなかった。つい

光に1〜2時間干して「竹の棒」で叩いて掃いて：若い保育士は何をするのか判らない。家でしたことがないから。次はカーペットをプールに持ち込み、洗剤をかけてゴシゴシ。乳児達の浸みこんだよだれやしっこが綺麗に落ちる。照明器具・壁の埃、床のワックスかけが終

わる頃におやつ。あつ、おもちゃも消毒液に浸けるの忘れてた！約二日を費やすが、大変気持ちが良い。

「旬」

大掃除、プール手入れ…
梅雨終れば夏の準備本番
水ナス、ハモすきに
暑さも吹っ飛ぶ

大切な環境設定、園舎が古びても掃除は行き届くようにと目標を定め、子ども達の快適な環境作りに今年も汗を流そう。5月に植えた野菜の収穫！白いぼきゅうりは、朝のもぎたてを塩揉み、又カ床に漬け込み昼の付け合わせに。子ども達には日本の伝統食・おいしい漬物の味をしっかり教え込み、米好き人間に育てと願う。そのうち泉南から水ナスが届くのを楽しみに。

類により花期が違い、来年もたくさん花を咲かせるには花後の剪定です。大きくしたい場合は花のみ落とす。その下の1、2番目が来年の花芽です。秋に切ると花芽を切り落とすことに。うちのアジサイ花咲けへんと相談があるが剪定が遅い。遅くも8月中旬。小さくしたいなら下から1〜2芽を残して早く切る。新芽が伸びて花が付き易い。暑い時は長いモノが旨い！ハモ・うなぎ・穴子。なかでも泉州地方ではハモすき(特産の玉葱とハモのすき焼き)が家庭料理、とき卵に浸けて食べるのは：んぐ旨い！
(H・N)

発行所
大阪市中央区中寺1丁目1-54
大阪府社会福祉協議会
保育部協議会
大阪府保育協議会
TEL (06) 6762-9001
発行人 男 正
編集人 永野 和
齊 藤

(石津保育園 R・N)